

近年の豪雨等を踏まえた「中小河川及びダム治水対策」の推進

政策提言先 総務省・国土交通省

政策提言の要旨

- ・抜本的な治水対策を集中的に行う補助事業「大規模特定河川事業」については、引き続き計画的に執行できる予算措置が必要です。
- ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」についても、必要な予算を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進することが必要です。
- ・また、南海トラフ地震の発生が逼迫していることを踏まえ、能登半島地震の教訓を踏まえた「国土強靱化実施中期計画」を令和6年以内に策定し、5か年加速化対策後においても、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して安定的・継続的に取り組むこと。
- ・ボトルネック箇所の局所的な河川改修や、河川内の維持掘削、ダム貯水池の浚渫等の維持管理を県単独事業により計画的に行うことができる、有利な地方債制度が今後も必要不可欠です。

【政策提言の具体的内容】

- 補助事業「大規模特定河川事業」への安定的な予算配分が必要です。
 - ・浸水被害が頻発する河川の抜本的な治水対策を集中的に実施。
- 防災・減災に資する中長期的視点に立った必要・十分な予算の確保が必要です。
 - ・「3か年緊急対策」、その後の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、河床掘削・樹木伐採、堤防の強化・河川の拡幅などの治水対策が大きく前進。しかし、未整備箇所も多く残る。
- 緊急自然災害防止対策事業債、緊急浚渫推進事業債の安定的かつ継続的な確保が必要です。
 - ・ボトルネック箇所の局所的な河川改修、河川内の河床掘削や樹木伐採、ダム貯水池の浚渫等の維持管理を県単独事業により計画的に実施。

【政策提言の理由】

- ・温暖化に伴い、全国各地において、豪雨災害が頻発・激甚化し、中小河川のインフラ整備の重要性が一段と高まっています。
- ・このため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策予算」を活用し、引き続き未整備箇所の対策を継続する必要があります。
- ・また、抜本的な治水対策を行ううえで、「大規模特定河川事業」の予算措置が必須です。
- ・河川を、計画に基づいて連続的に改修することに加え、近年浸水被害が発生した河川などのボトルネック区間を局所的に改修することも必要となります。
- ・あわせて、河川の河床掘削や樹木伐採を適切に行い、流下能力を確保することや、ダム貯水池の浚渫を計画的に行うことが重要です。
- ・このため、防災・減災に資する中長期的視点に立ち、5か年加速化対策後においても計画的に事業を執行できる必要・十分な予算を確保するとともに、抜本的な治水対策を集中的に行うための補助事業「大規模特定河川事業」への安定的な予算の配分と、ボトルネック箇所の局所的な河川改修や、河川内の河床掘削、ダム貯水池の浚渫等の維持管理を県単独事業により計画的に行うため、財源の安定的かつ継続的な確保が必要です。

【高知県担当課】 土木部 河川課